

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語 リーディング・ライティング		選択必修	1	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
ジェイソン・ディーン・スタージョン	C309	jsturjeon		火・金 1:00~5:00	
授業の目的・概要	<p>目的：グローバル化の進む現代において最新の情報を得るためには英語で記述された情報を敏速・正確に読み取り理解する能力が必要である。また、情報交換や発表の場においても、英語を用いて自分の考えや研究成果を発信する機会が増えてきている。英語リーディング・ライティングではこのような時代に対応するために必要な Reading と Writing 技能を中心に英語力の向上を目指すことを目的とする。</p> <p>概要：講義では基本文法の復習を行い、次にパラグラフ構成の基本、文章から必要な情報を得て、概要や要点をまとめる方法を明らかにする。選択したテーマについて構想を立て、アウトラインを作成し、それを基に文章を書くというライティング練習を行いながら、実際にパラグラフを書く技術を身につける内容となっている。この講義は、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	雑誌、新聞、Web 等を使い日ごろから英文を読む機会を増やすよう心がけること。自分にとって興味、関心のあるものや楽しめるものから始めることを推奨する。				
教科書	無し				
参考書	和英辞典・英和辞典				
外部教材	プリント配布する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	英文の主語、動詞、目的語、補語、修飾語のそれぞれを見分けることができる。			HSU(2)	
②	文法的な間違いなく、10 単語以上の英文を書くことができる。			HSU(2)	
③	アウトライン(下書き用メモ)を作成し、有効的にライティングに活かすことができる。			HSU(2)	
④	パラグラフの書き方のルールを理解できる。			HSU(2)	
⑤	パラグラフの構成を意識した文を書くことができる。			HSU(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	クラス概要、授業予定、レベルテスト	同時双方向型授業	SV、SVC、SVO 文を練習する。	1	
2	英文構造(SV、SVC、SVO)を学ぶ。	同時双方向型授業	SVOO、SVOC 文を練習する。	1	
3	英文構造(SVOO、SVOC)を学ぶ。	同時双方向型授業	授業中書いたメモの復習をする。	0.5	
4	“s”の4つの機能を学ぶ。	同時双方向型授業	様々な時制で文を書く。	1	
5	時制(現在・過去・未来・進行)の使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	That の各機能を使って文を書く。	1	
6	“that”の4つの機能を学ぶ。	同時双方向型授業	授業中書いたメモの復習をする。	0.5	
7	現在分詞の使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	接続詞を使って長文を書く。	1	
8	等位接続詞・従位接続詞の機能、使い方を学ぶ。	同時双方向型授業	トピック文の使用例を文献・インターネットから探す。	0.5	
9	パラグラフ構造と topic sentences について学ぶ。	同時双方向型授業	トピック文の使用例を文献・インターネットから探す。	1	

【2022 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

10	アウトラインの作り方、transition phrases を学ぶ。	同時双方向型授業	簡単な段落を書いてみる。	1
11	日本語（長文）の英語翻訳方法を学び、練習する。	同時双方向型授業	パラグラフを書く。	1.5
12	プロセス（工程）について書くことを通し、パラグラフライティングを練習する。	同時双方向型授業	パラグラフを書く。	1.5
13	フィードバックを得て、それぞれが選択したトピックについて書き始める。	同時双方向型授業	前の課題の間違っているところを見直す。全てのメモを復習する。	1.5
14	フィードバックを得て、選択パラグラフを完成する。	同時双方向型授業	よく構成された段落の例を示す配布資料を確認する。	1
15	過去の問題に関するフィードバックを受け取り、避けるべき一般的な書き間違いについて学ぶ。	同時双方向型授業	教師からのパーソナライズされたフィードバックを確認し、試験エッセイについて考え、概要を作り始める。	1
試				

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	60	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	22	40	0	0	0	62
	思考・推論・創造する力	3	0	0	0	0	3
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	6	5	0	0	0	11
	取組みの姿勢・意欲	9	15	0	0	0	24
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験：トピックを選択し、英語で少なくとも3つの段落で構成される短いエッセイを書く。評価：構造、正しい文法、トピックに適した内容、および正しい形式で書かれているかどうかを評価する。 加算ポイント：全体の長さと言彙の選択(40%)				パラグラフの評価と添削
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	レポート：8つの課題が与えられる。(文レベルのものからパラグラフまで) 評価：授業で学ぶ文法項目や、ライティングの要素と構成を正確に使えているかを評価する。 加算ポイント：馴染みのない単語やフレーズを使用する試み、課されたテーマ以上の努力。(課題全部で科目評価の60%になる。)				8つのレポートを評価、添削
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	無し						
教員の実務経験	16年間日本で英語を教えること、そしてその中の7年間は健康科学大学で英語を教えること。						
実践的授業の内容	学術論文を書くときは、日本語であっても世界中の誰もが検索できるように、アブストラクト（要約）を英語で書くことをお勧めする。アブストラクトを英語で書くためには、書く英語の構造の基礎知識が不可欠である。						
そ の 他	この科目は、学生が実用英検3級以上の英語の語彙と文法の実用的な知識を持っていることを前提としている。これより低い習熟度の学生は、授業が難しいと感じる可能性がある。シラバスに沿って授業は行われるが、学生のレベルに対応するため内容や時間等を変更する場合がある。遠隔授業は Teams を使った同時双方向型授業を行う。通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。						